

社会福祉 しずおか



特集 職員個人を大切にしている人材育成

福祉のまちづくり絵画コンクール優秀作品を紹介します(平成29年度)

テーマ やさしさでつながる福祉(しあわせ)のまち



★静岡県社会福祉協議会長賞

浜松市立舞阪小学校(3年) たか ぼし える 高橋 愛瑠

「ありがとうやさしいまち」

電車にのる時、車いすの、のりおりの手つだいをしてくれた、えきいんさんの絵。

※学校名、学年は平成29年度のものです。

編集発行



社会福祉法人静岡県社会福祉協議会

〒420-8670 静岡市葵区駿府町1番70号 電話.054-254-5248 FAX.054-251-7508 <http://www.shizuoka-wel.jp>
E-mail spcsw@shizuoka-wel.jp

※本機関紙は皆さまの会費を充当し発行しております。

職員個人を大切にする人材育成

福祉サービスを提供する事業所は、人材育成が不可欠といわれています。

それは、福祉サービスがモノを売る仕事ではなく、「人を相手として、人によって行われるサービス」であり、その担い手である職員一人ひとりの資質能力やチームの力量がそのままサービスの質に結びつくからです。人材育成は、福祉サービスの質の向上、ひいては、利用者のよりよい生活のために必須の取組です。

今回は、静岡県主催「ふじのくにケアフェスタ2017 ケアコンテスト」にて、3年連続で職員が最優秀賞を受賞した介護老人保健施設 ユニケア岡部の人材育成の取組についてご紹介します。受賞に至った背景には「“人”を大切にする視点」で実践されている人材育成があります。

「1.利用者のQOLの向上」、「2.職員の質の向上」、「3.職員の負担軽減」の3つの柱をもとに、具体的にどのような取組をしているのか、5つの特徴にまとめてご紹介します。

参考文献：全国社会福祉協議会「福祉職員キャリアパス対応生涯研修テキスト チームリーダー編」

介護老人保健施設 ユニケア岡部

事業主体：医療法人志太会
 開設日：平成15年9月1日
 所在地：藤枝市岡部町内谷1473-3
 定員：長期入所90名、短期入所10名
 職員数：70名(平成29年4月1日時点)



介護老人保健施設 ユニケア岡部 人材育成の柱

1. 利用者のQOLの向上

利用者を大事にし、寄り添うことが出来る職員を育成することで、生活の質の向上を図る

2. 職員の質の向上

「業務」ではなく「介護」ができる人材になる

3. 職員の負担軽減

「知恵と工夫」で、質の高いケアの提供と、職員の肉体的・精神的な負担軽減を両立する

特徴① 新人教育の充実

- ・ 多彩な新人教育プログラム
- ・ 入職後、現場に入る前に1週間の研修を行う
- ・ 研修では、心構えや知識だけではなく、「地域」についても学ぶ
- ・ ケアの「根拠と理論」「利用者に寄り添うこと」の大切さを学ぶ
- ・ マンツーマンで仕事を学ぶ、プリセプター制度
- ・ 毎日「振り返りシート」を作成

ユニケア岡部の職員、5名からお話をうかがいました。



2階フロア長 植松 拓行さん

「私は先輩に大事に育ててもらいました。後輩も同じように育てていこうと思っています。」



副施設長 小沼 克典さん

「施設全体で一人の職員を育てることを大事にしています。職員それぞれの個性を踏まえた人材育成を意識しています。」



介護職員 相澤 昌子さん

【ふじのくにケアフェスタ2017のケアコンテストにて最優秀賞を受賞(食事重度部門)】

「ケアの“軸”がぶれず、学んだことを実践していくことができる施設です。それが今回の受賞につながりました。」



介護職員 長瀬 有可さん

【2年目職員】

「手厚いフォローがあり、若い職員でも提案しやすい施設です。」



介護職員 松山 沙織さん

【新人職員】

「心配なことがあっても、先輩に相談しやすいので安心して仕事が出来ています。」

特徴② 職員教育の標準化

- ・施設全体で1人の職員を育てる
- ・「新人教育マニュアル」を策定

特徴③ 面談は職員を育てる場

- ・面談は職員のがんばりを評価し、モチベーション向上に結びつける場
- ・面談で、共に今後の目標設定をする

特徴④ 職員が提案しやすい環境

- ・職員がやりたいといったことは、可能な限り挑戦してもらう
- ・若手の提案が実現できるように、上司先輩がフォローをする
- ・合言葉は「ヒト・カネ・モノが足りなければ、知恵と工夫でなんとかする」

特徴⑤ 人を大切に

- ・その人に合った、その人の負担にならない育成
- ・職員の個性を活かす
- ・「ありがとう」のメッセージボード

各項目の詳細は次のページへ

特徴① 新人教育の充実

多彩な新人教育プログラム

入職後最初の1週間は、新人職員が現場で困らないように、施設の理念や介護職としての心構え、介護技術と留意点、一般医療知識等、その他多彩なプログラムが組まれています。実際に研修を受けた職員は、「これらの手厚い研修が今に生きている」と実感しています。

●**岡部町を知っていることが強みになる**
プログラムの一つに、施設所在地の岡部町について学ぶ時間があります。岡部町の歴史について学んだり、町の有名なスポット等を訪れたりしています。利用者が暮らしている地域を自分の目で見て、肌で感じることで、カルテには無い新たな情報を得ることが出来ました。

他町出身の職員からは「岡部町のことを知らなかったけれど、地域について学んだことで利用者さんとコミュニケーションを取るきっかけができました」という声が聞かれました。利用者の暮らしを知ることも、ケアの大切な要素だということがよく分かります。

●1日利用者体験

寝たきり体験では、四肢麻痺想定でオムツを着用し、壁に向かい横になり、ベッド上で半日を過ごします。その際、自分で体を動かしてはいけません。また、他の職員は声掛け等はせず、体験者との関わりを持ちません。時間が来るまで排泄がみられたオムツも交換しないという設定のもと行われます。

1日利用者になりきって過ごす時間は、利用者の立場に立つて考えることを改めて確認し大事にする意識を持つことができました。この意識が利用者との日常のかかわりや居室の設え、行事の企画等様々な場面で生かされています。

マンツーマンで仕事を学ぶ、

プリセプター制度

勤務開始後は、40日以上を新人教育にあたる先輩職員と共に行動します。先輩職員は、新人職員にあつた指導方法を考え、教え、職員を育てていきます。マンツーマン指導のもと、なぜそのケアが必要なのかという根拠と理論を学んでいきます。「この期間の学びが現在のケアのベースになっている」、「先輩職員と仕事をするなかで利用者に寄り添うこと、大事にするこ

とが最優先」ということを学んだ」という声もあります。

新人職員は毎日1枚ずつ振り返りシートを作成し、それに対し指導にあつた職員がコメントを記載します。コミュニケーションツールの一つになる他、新人職員と先輩職員の日々のやり取りが、成長の記録として目に見える形で残すことができます。

特徴② 職員教育の標準化

施設全体で1人の職員を育てる

ユニケア岡部で大切にしていることは「施設全体で1人の職員を育てる」ことです。プリセプターと呼ばれる先輩職員のみではなく、施設内の様々な職員が教育に携わります。また、職員教育の標準化を図るために、教える側に向けた「ユニケア岡部新人教育マニュアル」があります。

このマニュアルの目的は、「ユニット独自の教育方法ではなく、施設として共通の教育方法で指導をしていくこと」や「新人職員が不安のない環境の中で、独り立ちができるよう推進していくこと」等。マニュアルの中には、「新人教育の心得」として、新人職員個々に寄

り添った教育の心構えが記載されています。人によって教え方が変わってしまうたり、差が出てしまわないよう、教える側・教わる側どちらにとつても安心できる環境がつけられています。

特徴③ 面談は職員を育てる場

職員のモチベーション

向上に結びつける

年に1回、全職員を対象に統括部長・副施設長・フロア長・ユニットリーダーが個別面談を行います。面談では「職員のモチベーション向上に結び付けること」を目標に掲げ、職員のがんばりを評価し、「あなたを大切にしています」「応援しています」という想いを伝える場として意識しています。職員の間、思いや不安、挑戦したいこと等を聴き、共に今後の目標設定をしていきます。

●新人職員の場合

4〜8月までの間におおよそ3回の個別面談が行われます。1ヶ月に1回という目安はありますが、実施時期や回数は新人職員の様子を見ながら判断しています。面談を受けた職員からは、「自分の不安を解消できた

り、アドバイスを受けることができたから今の自分がいます」「上司とのコミュニケーションが心の支えになっていきます」という感想がありました。

特徴④ 職員が提案しやすい環境

「職員がやりたい」といったことは可能な限りやってもらっています」

平成28年度は、調理レクリエーションや外出・夕食等118件（事前に計画書が作成された行事。突発的な外出等は含まず）の職員の「やりたいこと」を実施しました。

職員が提案しやすい環境の理由は、提案を前向きに受け入れてくれる雰囲気はもちろん、上司や施設全体から実現に向けてのアドバイスやフォローがあるからです。

●合言葉は「ヒト・カネ・モノが足りなければ、知恵と工夫でなんとかする」

利用者と外出する際、現場の人手不足が課題の1つに挙がるかと思えます。ユニケア岡部の場合「人がいない以外に行けない」のではなく、外出している間、職員も利用者と共に楽しめるよう副施設長をはじめ、フロアリーダー

やケアマネがユニット勤務に入り、施設全体で利用者・職員をバックアップする体制ができています。

このようなことが、職員が安心して積極的に提案・企画することにつながっています。

特徴⑤ 人を大切に

その人に合った、

その人の負担にならない育成

小沼副施設長は、ケアプランと同じように職員個々の育成プランを持っていきます。

型にはめず、その人に合ったその人の負担にならない育成で、職員にとっても安心した環境をいかにつくることのできるかを心掛けています。それによって得た職員の安心感を利用者に伝わり、その結果、質の高いケアを提供することに繋がります。

また、日常のあらゆる場面が人材育成の場であり、「その職員にどうなってもらいたいか」という想いを軸にし、委員会の委員選定や会議の運営等を行っています。

介護以外の個性を生かす

趣味や特技など職員が持つ介護以外の個性を、様々な機会で見出しようにしています。自分の得意分野を發揮できるのは楽しい事です。1つの例として、他業界から介護業界に入ってきた職員がこれまでに積み重ねてきたスキルを生かし、利用者へのケアにつなげていきたいと思っています。

「ありがとう」のメッセージボード

職員から職員へ、家族から職員へ。職員への対応に「ありがとう」の言葉を共有できるメッセージボードを職員通用口に設置しています。仕事の中で職員が出逢った素敵な出来事を職員皆で共有することができます。「気にかけてくれてありがとう」「笑顔で仕事ができることに感謝です」など、ボードには多くのメッセージが掲示されています。



まとめ

この特集では、ユニケア岡部の人材育成をご紹介させていただきました。仕組みや体系そのものも素晴らしいものですが、何よりも職員を大切に育てる、という教育担当者の想いを感じました。

単に採用する、配置する、研修を受けさせるだけではなく、人材育成においても「根拠と理論」、そして職員「その人」を尊重することを意識実践されています。

これらの要因が、より良い人材育成、ひいてはケアの質の向上につながっていくのではないのでしょうか。

本会人材センター研修課でも、年間60本ほどの研修を開催するだけではなく、3月13日には「研修担当者会議」、5月からは「研修活用コーディネート養成プログラム(第三期)」を企画し、効果的な人材育成、研修活用の必要性や実践方法に皆様と一緒に取り組んでまいります。

ご参加をお待ちしております。

民生委員制度創設100周年記念・児童委員制度創設70周年記念 静岡県民生委員児童委員大会が開催されました

(主催 静岡県民生委員児童委員協議会 静岡市民生委員児童委員協議会 浜松市民生委員児童委員協議会)



平成29年11月22日(水)、民生委員制度創設100周年及び児童委員制度創設70周年を記念して「静岡県民生委員児童委員大会」が開催されました。

大会には、静岡県内から約2,700人の現任・退任の民生委員・児童委員の方々が参加し、100年の歴史を振り返るとともに、今後、一層の活動の充実、発展に向け、思いを新たにす機会となりました。

式典では、川勝平太静岡県知事、田辺信宏静岡市長、鈴木康友浜松市長の御臨席をいただき、御祝辞を賜りました。

川勝平太静岡県知事は、「記念大会がこのように盛大に開催されますことを、静岡県民を代表し、感謝とともに、心からお祝いを申し上げます。この大会をきっかけに、民生委員制度、また児童委員制度とその背景にある歴史に思いをいたし、次なる時代に向け、新しい運動が社会全体で始まり、そのリーダーシップをとられたのが、民生委員児童委員の皆様であると語り継がれるようになればと祈る次第でございます。」と祝辞を述べられました。

また、長年に渡り、民生委員児童委員制度の発展に御尽力いただいた5名の方へ、静岡県民生委員児童委員協議会会長、静岡市民生委員児童委員協議会会長並びに浜松市民生委員児童委員協議会会長の連名により感謝状が贈呈されました。

感謝状を受領された皆様

静岡県民生委員児童委員協議会	元会長	天野 隆玄 氏
静岡県民生委員児童委員協議会	前会長	越川 年 氏
静岡市民生委員児童委員協議会	元会長	川口 武 氏
静岡市民生委員児童委員協議会	前会長	和田 哲也 氏
浜松市民生委員児童委員協議会	前会長	荻野 英子 氏



5名を代表して感謝状をお受け取りになる天野隆玄氏

ふれあい基金助成団体紹介

平成29年度静岡県社会福祉協議会ふれあい基金の助成を受けた43団体の中から、今回は「活動推進助成事業」の助成団体の活動を紹介します。

「チームももいろ」(焼津市)

首都圏は家庭事情が複雑な子供が多く「こども食堂」が多数存在していますが、地方は比較的安定している家庭が多く、これまで「こども食堂」の必要性はそれほどではありませんでした。

しかし、こども食堂は、本来の目的だけでなく、子どもから高齢者を繋ぎ、地域交流や地域活性化にも繋がる、という目的も含むことを知り、新しい地域交流の場にしようと「ももいろ食堂」を開催しました。

ただ食べるだけでなく、地元の高中生や塾講師にボランティアで宿題や勉強を見てもらい、その後は、みんなで元気に外で遊びます。

食事は、食材を提供してくださった方に感謝しながら、食べられる分だけ各自お皿に盛り「いただきます」の挨拶で、みんな一緒に楽しくいただきます。準備や片付けも勿論手伝ってもらいます。食後は、食材を提供くださった方へ感謝の手紙を書き、後日お渡ししています。

最近では、高齢者の方へ自発的にお茶を運ぶ子ども達の姿も見られ、スタッフ一同感激しています。

「ももいろ食堂」を通じ、少しでも優しさや思いやりを持った子に成長してくれたらと願い、これからも活動していきます。



毎回クジで席を決め、食事でも会話も弾みます



小さい子から順番に

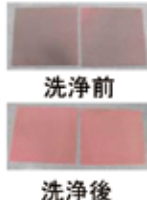
施設のメンテナンスを効率良い専門車両で応援します。

カーテン出張クリーニング



特許ランドリー車

カーペット・タイル出張丸洗い



特許出願中

ブラインド・ロールスクリーン出張クリーニング



株式会社三ナフ 静岡県静岡市葵区産女 1060-1

フリーダイヤル・ミナフにハロー
☎ 0120-370286

fax054-295-9003

ありがとうございました



県社協への寄附金

- ❖ 中日新聞東海本社 様から本会（一般寄附金）へ195,000円の寄附をいただきました。（平成29年12月21日）
- ❖ 静岡銀行グループ 本部役職員有志一同 様から本会（ふれあい基金寄附金）へ172,000円の寄附をいただきました。（平成29年12月27日）
- ❖ 静岡県行政書士会 様から本会（一般寄附金）へ100,000円の寄附をいただきました。（平成30年1月10日）



左) 静岡銀行グループ 本部役職員有志一同 代表 道丹麻衣子 様
右) 本会 常務理事 松浦康夫



左) 静岡県行政書士会 会長 平岡康弘 様
右) 本会 常務理事 松浦康夫

社会福祉しずおか 広告募集

広告を掲載して、イメージアップ、顧客アップを図りませんか？

- 掲載紙名…機関紙「社会福祉しずおか」
- 発行部数…毎月11,300部発行
本会会員（県内福祉施設、団体、民生員児童委員、企業等）、県内小中高等学校等
- 掲載回数…年1回～毎月（10月を除く）まで
- サ イ ズ…ご希望にあった掲載をお選びいただけます。
3タイプのサイズをご用意しております。
詳細についてはお問い合わせください。

問合せ先…静岡県社会福祉協議会 福祉企画部地域福祉課 電話 054-254-5224

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償！！

平成29年度

ボランティア活動保険

全国200万人
加入！！

保険金額

保険金の種類		プラン	Aプラン	Bプラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,320万円	1,800万円	
	後遺障害保険金		1,320万円 (限度額)	1,800万円 (限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	10,000円	
	手術 保険金	入院中の手術		65,000円	100,000円
		外来の手術		32,500円	50,000円
	通院保険金日額		4,000円	6,000円	
	特定感染症の補償		上記後遺障害、入院、通院の各補償金額(保険金額)に同じ		
賠償責任の補償	葬祭費用保険金 (特定感染症)		300万円(限度額)		
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)		5億円(限度額)		

年間保険料（1名あたり）

タイプ		プラン	Aプラン	Bプラン
基本タイプ			350円	510円
	天災タイプ※ (基本タイプ+地震・噴火・津波)		500円	710円

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

※天災タイプでは、天災（地震、噴火または津波）に起因する被保険者自身のケガを補償しますが（天災危険担保特約条項）、賠償責任の補償については、天災に起因する場合は対象になりません。

保険金をお支払いする主な例



ボランティア行食用保険

（傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険）

送迎サービス補償

（傷害保険）

福祉サービス総合補償

（傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険（オプション））

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
〈保険会社〉
TEL: 03(3349)5137
受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03(3581)4667 FAX: 03(3581)4763
営業時間: 平日の9:30~17:30 (12/29~1/3を除きます。)
この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。